

# 支部だより

第37号 (1998.4.2)

〒630 奈良市高畑町 奈良教育大学天保田研究室 電話 FAX 0742-77-3215

## 定例研究会のご案内

### (社) 東洋音楽学会関西支部第 188 回定例研究会

と き : 1998年4月18日 (土) ①14:00~16:45  
 ところ : 大阪教育大学天王寺キャンパス本館第13教室 (下図参照)  
 〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88 Tel06-775-6611  
 交通 : JR大阪環状線「寺田町駅」下車南出口を西へ徒歩約5分  
 JR・地下鉄「天王寺駅」、近鉄南大阪線「阿倍野橋駅」下車東へ徒歩約10分

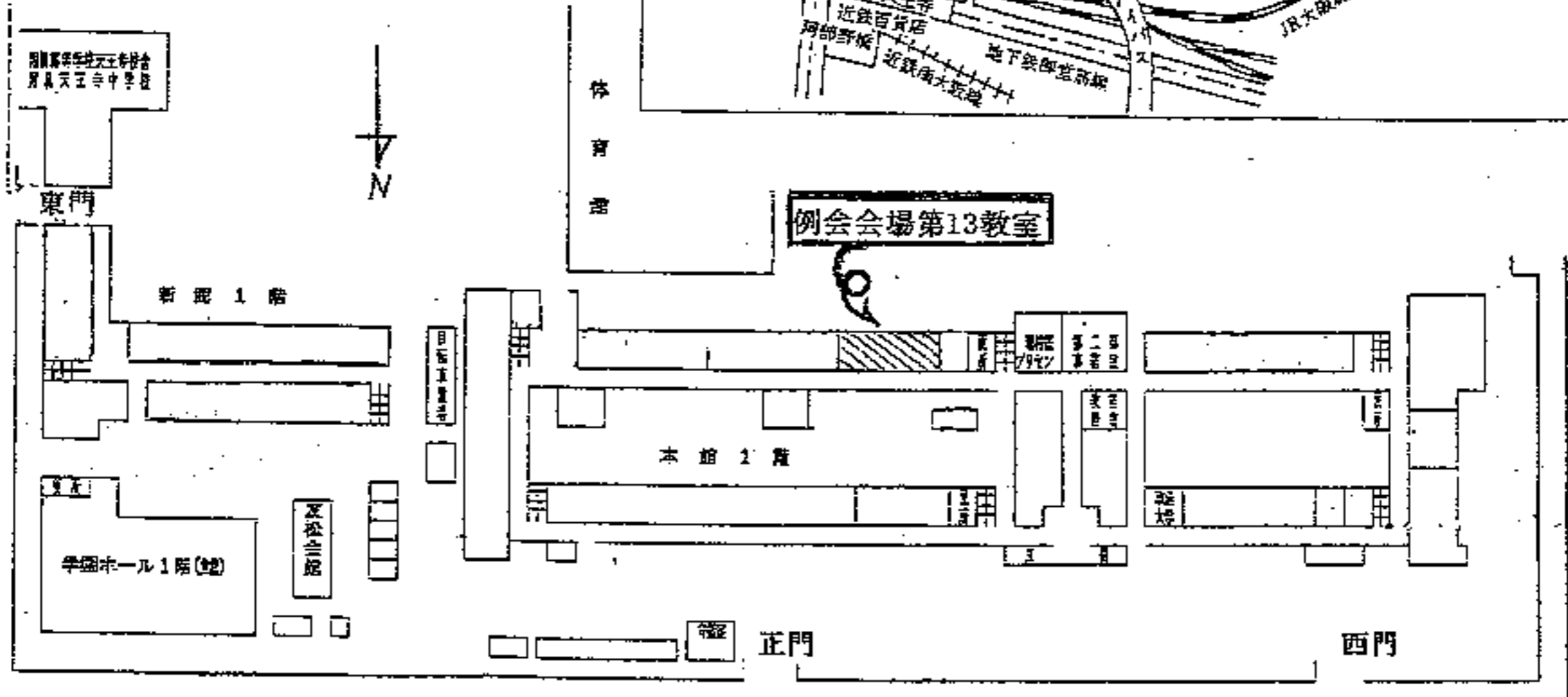
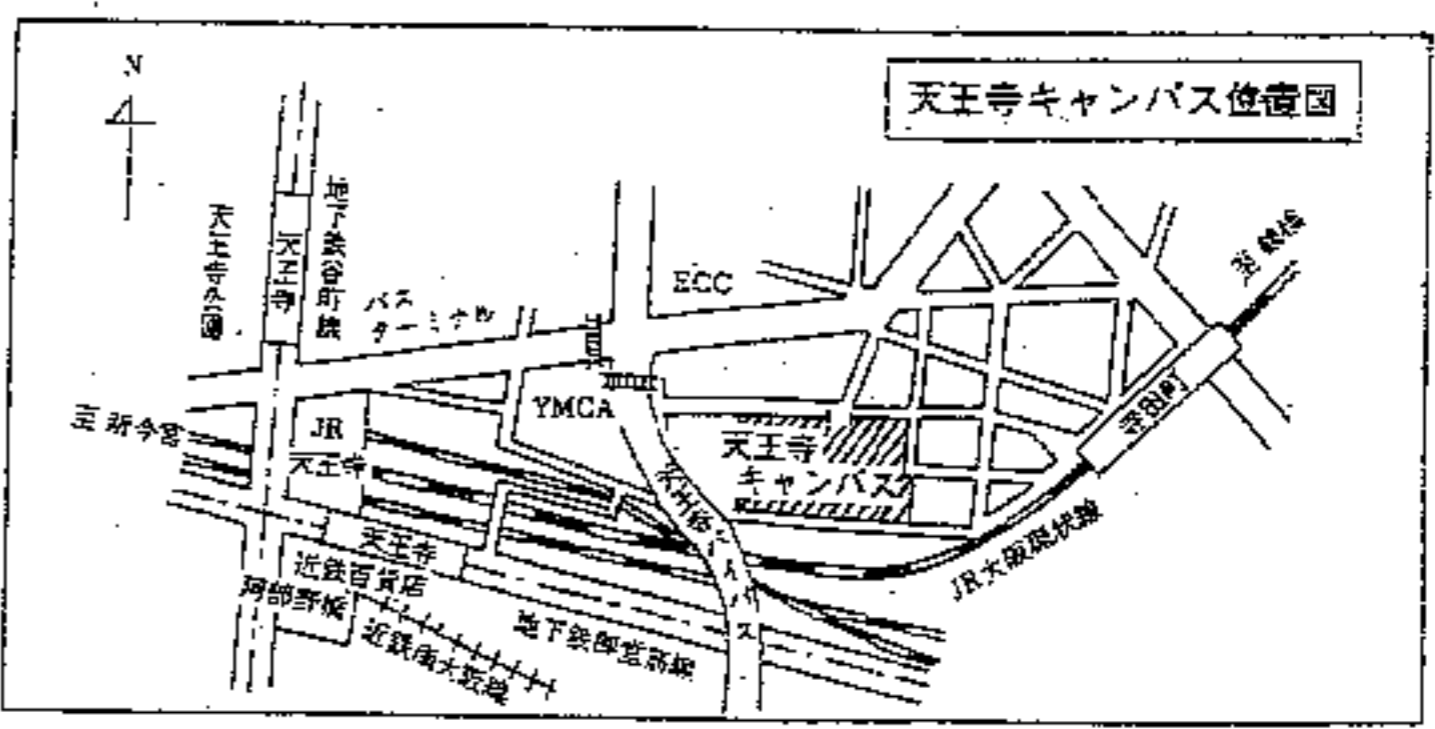
#### 1997年度卒業・修了論文発表

- 14:00~14:30 宮城胡弓の誕生とその意義 吉村由美子 (同志社女子大学)
- 14:30~15:00 求められた中世諸芸能の変遷 垣内順栄美 (相愛大学研究生)

#### 1997年度修士論文発表

- 15:15~15:45 光崎検校とその周辺 井口はる菜 (奈良教育大学)
- 15:45~16:15 兵庫県西播磨地方の獅子舞研究—その分布と伝承の構造について 大渡敏仁 (大阪芸術大学)
- 16:15~16:45 劉天華と琵琶—民国期における汎国民的音楽創出の芽生え 橘田 勲 (大阪大学)

大阪教育大学天王寺キャンパス  
本館第13教室案内図



# 1997年度卒業論文・修士論文題目一覧

1997年度卒論修論のうち東洋音楽学会の研究内容に関わる論文について、関西支部会員より回答をお寄せいただいたものを紹介します(博士論文は3頁に掲載)。なお括弧内は回答していただいた会員の氏名です。

## 愛知教育大学 (鶴田信夫)

### [卒業論文]

市瀬香織 日本人の「間」感覚について—少林寺拳法の演武を通じて

五島紀江 民族音楽の教材化—微小な音程の理論のための考察

古川広美 長唄「太鼓地」の特徴についての一考察—「越後獅子」「汐汲」の分析を中心に

森川知子 日本の音楽・音における伴び縮みする拍の研究

山本文恵 香港のポップ・ミュージックについての一考察

### [修士論文]

疇地希美 戦後の流行歌におけるリズムパターンの変遷—音数律に基づく定量的分析を中心として

磯村篤史 沖縄民謡のポップス化と教材化についての研究

Galina Gvozdevskaya 禅宗における普化尺八本曲の哲学的な意義についての研究

## エリザベト音楽大学 (片桐功)

### [卒業論文]

川寄志保 広島県山県郡加計町の民俗音楽の現況

## 大阪音楽大学 (網干毅)

### [卒業論文]

嶋本美樹 滋賀県太鼓踊りに関する一考察

榊屋秀忠 上鴨川住吉神社の翁舞についての一考察

## 大阪教育大学 (澤田篤子)

### [卒業論文]

西畑和子 中学校音楽教育における日本音楽学習に関する考察—1990年以降の実践例の分析を通して

## 大阪芸術大学 (月溪恒子)

### [卒業論文・修了論文]

井口粧子 柴田南雄の「人間について」—学習の場としてのシアター・ピース

今市みむね チャンチャコ踊りのラバン舞踊による記述の試み

東佳代子+佐藤亮子 都山流本曲における尺八の古典性と近代性

山崎 薫 ラバン舞踊譜を用いた舞楽の研究

澤田昌久 長唄における終止 (専攻科)

### [修士論文]

大渡敏仁 兵庫県西播磨地方の獅子舞研究—その分布と伝承の構造について

水落 学 日本音楽史研究における日記資料のデータベース化の試み—『看聞御記』を題材として

## 大阪大学 (山口修)

### [修士論文]

伊藤友子 ワガノワ・バレエ・アカデミーでの教育にみる口頭伝承性—キャラクター・ダンスを例に

橋田 勲 劉天華と琵琶—民国期における汎国民的音楽創出の芽生え

## 相愛大学 (黒坂俊昭)

### [卒業論文・修了論文]

岡 恵美 三味線組歌における「本手」と「破手」のちがいについて

森紀理子 地域に根差した芸能の息吹—籠神社の場合

山田理恵 カクレキリシタンと歌オラショ

山下幸恵 わらべうた教育における一考察

垣内順栄美 求められた中世諸芸能の変遷(研究生)

## 同志社女子大学 (久保田敏子)

### [卒業論文]

吉村由美子 宮城胡弓の誕生とその意義

## 名古屋音楽大学 (小櫻秀爾)

### [卒業論文]

鍵山康代 よさこい鳴子踊りの成立と伝承について

繁田洋子 長唄における囃子と三味線の関係について—「元禄花見風踊り」の分析を通して

田代陽子 風鈴の研究—その系譜と音響的特性に着目して

富永麻美 阿波踊りに関する「ぞめき囃し」と踊りのリズムについて

鍋岩千重 『源氏物語』における音楽描写に内包されるもの—琵琶に関する記述の分析を中心に考察する

濱田知美 黒潮太鼓保存会にみる伝統芸能の諸要素を取り入れた創作太鼓の曲の分析

**奈良教育大学** (久保田敏子)

[修士論文]

井口はる菜 光崎検校とその周辺

**兵庫教育大学** (水野信男)

[修士論文]

謝 淑華 台湾原住民の音楽の研究—ブヌン族の歌を中心に

吉谷委佐子 旋律とは何か—ムニ鳥の歌を出発点として

**広島大学学校教育学部** (山田陽一)

[卒業論文]

杉岡貴江 平家物語の音楽描写に関する一考察

水野貴美代 「さんさ時雨」に関する一考察

[修士論文]

幸喜綾子 沖縄民俗芸能エイサーにおける力を生むパフォーマンス (学校教育研究科)

高橋 亘 恨を揺さぶる声—韓国東海岸、巫女の声のパフォーマンス (国際協力研究科)

デキキス奈々子 Maya festival music in Tactic: este es nuestro costumbre (国際協力研究科)

前田陽子 インドネシアにおけるジャズの成立とミュージシャンの自己意識 (国際協力研究科)

**和歌山大学** (泉 健)

[修士論文]

遠嶋祐子 現代日本のサウンドスケープと人々の音感覚

## 1997年度博士論文題目

井口淳子 中国北方農村の口承文化—語り物の書・テキスト・パフォーマンス (大阪大学)

金 英峰 中部ベトナムにおける音楽文化の伝承と変化—宮廷音楽を中心に (大阪大学)

小西潤子 石貨の島からの声—ヤップ島の歴史的音楽民族誌 (大阪大学)

幸野智子 真法流譜の研究 (大阪芸術大学)

## ◎研究活動コース

### 研究会の紹介：「東洋音楽」研究会

本研究会の目的は、明治から大正、昭和前期 (太平洋戦争) までの日本の音楽研究者が、どのようなアジア (音楽) 認識に基づいて研究を展開したのか、また当時の「東洋音楽」、「東亜の音楽」などの諸概念が具体的に何を指しており、いかなる脈絡や、関連諸分野の影響から成立展開していたのか、さらにそれが戦後のアジア (含日本) 音楽研究にどのように継承されているのか、といった問題を考えていこうというものです。現在のアジア諸地域の音楽研究において、それぞれの地域研究の立場から先達の成果が批判的に検討されるべきなのは当然です。しかし、そうした個別研究の範囲を超えて、植民地主義や大東亜共栄圏に至る近代の日本国家の歩みの中で、音楽研究が意識的、無意識的を問わず担ってきた社会的役割や、時代的に共有されていた認識を追求する必要があるのではないかと、というのが私達の問題意識です。

本研究会の母胎は、アジア諸地域の音楽研究を専攻する有志によって、2年ほど前から電子メールを通じて情報交換や討議を続けてきました。その延長線上に、昨11月の本学会仙台大会においてセッション「20世紀前半の日本におけるアジア音楽研究の構図」を持つことができました。これをきっかけに、同じ問題意識をもつ他の研究者にも参加してもらいたいとの思いから、メーリングリストを開設しました。今後はメーリングリスト上での議論と平行して、年2~3回程度の研究会を開催し、その成果を関連学会等において積極的に発表してゆきたいと考えています。

本研究会に参加を希望される方は、久万田晋 (下記) までお問い合わせ下さい。

903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4

沖縄県立芸術大学附属研究所

Tel. 098-831-5044

Fax. 098-831-5033 (代表)

☒ s-kumada@okigei.ac.jp

NBC02726@niftyserve.or.jp

## 1998年度定例研究会予定

- 第188回 1998年4月18日(土) 大阪教育大学天王寺キャンパス  
第189回 1998年6月 会場未定(日本ポピュラー音楽学会との合同例会)  
第190回 1998年9月下旬 会場未定  
第191回 1998年12月 会場未定(日本音楽学会との合同例会)  
第192回 1999年3月中旬 東大寺戒壇院(終了後東大寺二月堂修二会「お水取り」の見学をいたします)

※第189回以降の例会の日程等については次号でお知らせいたします。

## 関西支部からのお知らせ

**入会申込方法・住所等の変更について** 入会ご希望の方は、郵便切手80円を同封し、下記の学会本部新事務所に入会申込用紙・入会案内をご請求下さい。なお入会には推薦者1名(本学会員)を必要とします。住所等の変更につきましても同事務所までお知らせ下さい。

〒110-0001 東京都台東区谷中 5-9-25 第2八光ハウス201号 (社) 東洋音楽学会  
☎ 03-3823-5173 FAX 03-3823-5174 ☒ LDT01776@niftyserve.or.jp  
振替 東京 00160-6-55723

**定例研究会発表申込方法・支部だよりについて** 定例研究会での発表等を常時募集しております。ただし申込多数の場合など、必ずしもご希望に添えないこともありますので、あらかじめご了承ください。申込の際は、発表の種別(連続講座、研究発表、資料紹介、研究演奏、調査報告など)、題目、使用機器、発表希望日、所属、氏名、連絡先を明記の上、下記宛にご送付ください。また支部だよりへのご意見や自由な投稿もお待ちしています。

〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698番1 大阪教育大学 澤田篤子  
Tel & FAX 0729-78-3703  
☒ [fwid5652@mb.infoweb.ne.jp](mailto:fwid5652@mb.infoweb.ne.jp)

**お詫びと訂正** 支部だより第30号 1ページに誤りがありました。お詫び申しあげますと共に、以下のように訂正していただきますようお願い申しあげます。

1997, 1, 25 → 1998, 1, 25

(社) 東洋音楽学会関西支部185定例研究 → (社) 東洋音楽学会関西支部第187回定例研究会

## 編集室より

第31号をお届けいたします。前回第187回例会が連続講座、このたびの第188回例会が卒論・修論発表の例会であるため、本号は例会の報告も予告もないかわりに卒論・修論・博論の題目を掲載しました。年度末のご多用の中、回答を寄せてくださった会員の皆様に感謝申し上げます。ただし会員の属するすべての大学に照会することができませんでしたので、他に当該の論文がございましたらお知らせください。今年度の例会は多様な展開となりそうですが、次号(5月下旬発行予定)にて詳しくお伝えいたします。(村上・澤田)